大正六年十一月二十三日　THE KEIJO NIPPO　第三千六百五十八號（一）

京城日報

二十二日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

○單獨講和不可能

戰局に及ぼす露國の混亂狀態

倫敦の有識者階級は現下の時局に就き觀測して曰く露國の形勢は混沌たるものあり之を要するも混亂の故を以て單獨講和は行はる可きにあらず何んとなれば過激派も社會黨も穩健派も軍國主義を相容るゝ能はず又獨逸は平和に經驗たる可しと雖も變轉極り無き露國政府と恒久的に平和を締結する能はざるを知悉し居れるは言ふ迄もなし又次で起つ可き露國政府は一般的平和を提議す可きも英米の反對に遭ひて結局成立せざる可く要するに露國現下の混亂狀態と作戰の失敗とは結局戰期を延長するに過ざる可しと（倫敦特電）

○政權兩氏の手に歸す

ケ軍ガッチンに於て降伏

露都に於ける動亂の影響は極めて莫大なるものなるが莫斯科に於ても過激派の砲擊に依り市內は修羅の巷と化し犧牲者二千名を越ゆ可し又露都に於ける政權は今やレーニン、ツロツキー兩氏の手に掌握されケレンスキー內閣員は總て要塞監獄に拘引せられたり露軍は今や寒氣と飢餓に迫りケレンスキー軍はガッチンに於て降伏したり（哈爾賓特電）

○莫斯科戰鬪慘憺

莫斯科に於ける戰鬪は十一月七日より九日間繼續し死傷七千名に達し家屋は大破損を爲せり（倫敦電報）

○在米獨人逮捕さる

大統領ウヰルソン氏の敵國人取締布告の結果は十九日夜ホボーケン市にて現はれ水上附近の酒保及び下宿屋にて獨逸人二千名發見され逮捕の上エリス島に護送抑留されたり（紐育電報）

○總統府軍政決裁

今後の軍政事は合せ悉く總統府に移され總統府は軍事會議を開き軍事上の決裁を爲す可しと（北京特電）

○北軍退却と狼狽

湖南北軍は退却に際して周章狼狽を極め大砲二十門軍馬全部彈丸一萬發を遺棄して逃亡し湘潭より逃げ歸りし北軍三千は長沙南門外にて小銃彈丸を銀弗に替へ武裝を解除して解散せり（北京特電）

○林公使嚴重抗議

林駐支公使は二十日外交次長高而謙氏を訪ひ連日掲載せる北京ガセット紙の攻擊に對し嚴重なる抗議を爲せり（北京特電）

○大運河借款成立

支那大運河借款六百萬弗の契約は二十日午後三時北京に於て成立調印を了せり（北京特電）

○光瑞師臺灣視察

大谷光瑞師は二十二日より臺灣の西部視察に向へり（臺北電報）

○木間瀨氏入社

前富山縣知事木間瀨策三氏は藤田組に入社す可しと（大阪特電）

◎佛國公債條件

佛國政府に於ては今回發行すべき國防公債は日本に於ては[illegible]二十六日より取扱開始[illegible]

◎陸地棉好況

[illegible]

△其後氣候適順なりしより大體に於て作柄を見直し總作付反別六萬六千三百二十六町一反歩に於ける收穫高五千六百餘萬斤の豫收は動き無きを見込みなり現在の棉花相場は實綿百斤二十二三圓處にして時々相場の變動は免かれざるべきも今日の處一つも弱材料の存在を認め得ざるを以て假りに平均相場を二十二圓として一千二百餘萬圓に上り之が耕地面積は六萬六千餘町反當平均十八圓餘の

△收穫を擧げ得べし而かも耕作者は棉栽培法不馴れの爲め十分の好成績を收めたりと稱する能はざるも年次發達すべきを信じて疑はず而して本年の在來棉收穫高は一千四百萬斤見當なるを以て陸地棉と合せて七千餘萬斤の收穫を見るべきが總督府の計畫は陸地[illegible]

□對米禁鐵交涉顛末(3)

遞信省發表

[illegible]之を要するに我政府は友誼最も敦厚なる米國政府に對し此問題に付飽迄調和的態度を以て問題の圓滿なる成立を深く希望して已まざるも遂に一致の合意を見るに到らざりしは深く遺憾とする所なり

△造船界の實狀に顧み尚ほ交涉を繼續し我航運造船事業をして永く不安定の位置に立たしむるの得策に非ざるを考へ既約品に關する交涉の外別問題として提議したる造船材料の交給船舶新造に關する交涉は之を斷念中止するの處置を取ることとせり是より先き既に製鐵材料[illegible]

△初め我造船界は米國より造船材料の輸入を受け居れる際に於ても製鐵材料は輸入困難にし[illegible]當業者の苦痛を訴ふる事急なるを以て一般的造船發達の策を講ずると共に特に鐵板の供給を滑かならしむる必要なるを認め去る六月下旬關係各省大臣協議の結果主管局長の種々審議を盡したる末海軍工廠に於て可及的之を製作分配するの案を立て其原料は之を枝光製鐵所に仰ぐ事とし爾來種々[illegible]

△其の不足分を供給補足すべき事とし數日前之が配分方を各當業者に通達し之に由て鐵材缺乏の爲め新船を完成し能はざりし者は直に其の二種を進め得ることゝなれり尚ほ海軍に於ては引續き造船界の必要に應し其の製作を繼續し且つ最近に於ける相當便宜を與ふるの必要なり次で目下建造中にある船舶に對する材料の配給を建造せんとする[illegible]に缺乏を來したるものに就ては當業者の申出に依り約六萬噸を

△約七千五百噸の不足材料を補充せば約九十一隻其重量噸約三十六萬九千噸の船舶を完成せしめ得べく即ち第二類の船舶に對し最近に配付を補充せば約一萬二千二百噸の不足材料を補充し得べし即ち第一千餘噸の不足材料の船舶を完成せしめ得べく即ち第二類の船舶を製造せんとせば四十九隻其重量噸約五十九萬噸の材料にして四十七箇所の造船所に於ける船舶に對し約一萬八千餘噸の材料を補給するを得ば之を完成し能ふ付ては目下農商務省製鐵所により供給方に於て熱心調査中なり（完）

◎清會郵便速達

清津會寧間の郵便遞送は清會線[illegible]開通前所謂トロ遞送の時代に在りては僅々五十九哩の區間を夏季は一日冬季に二日間を要し郵便遞送は[illegible]十一月二十五日よりは上下便共に[illegible]

◎鮮滿通信報改良

[illegible]

◎朝鮮燐寸會社

[illegible]大阪及び[illegible]

◎朝鮮物產會社

[illegible]

△仁川船渠會社

[illegible]

○日支爲替銀行決定

創立打合會と其の要項

[illegible]

一、名稱　支那匯業銀行

一、資本金　一千萬圓（全額）

一、株式　十萬株

一、拂込　[illegible]

一、本店　北京　支店　上海、天津[illegible]

◎大邱果物輸出高

本年度大邱及び其附近より搬出されたる果物數は一萬六千百九十一貫箱數五千三百九十七箱にして昨年度の一萬八千三百九十貫箱數六千百箱に比し貫數に於て二千百九十貫箱數に於て七百三箱の減少を示せり（大邱）

◎英武官督府訪問

在東京英國大使館附武官[illegible]ボルドウヰン氏は[illegible]

◎軍司令部張宴

[illegible]ボルドウヰン氏を主賓として同日午後零時三十分より軍司令官官邸に招待し午餐會を催し陪賓として花師團長古海警務總長高橋總督府附武官等列席し軍司令部各部長並に副官參謀等出席せり

◎山本參謀出張

[illegible]

◎廣瀨經理部長出張

[illegible]

人事消息

[illegible]

彼れ此れ

[illegible]

耐火煉瓦

△蠟石煉瓦（三十番より三十四番）

△シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）

△ダイナス煉瓦　△ヤケネシヤ煉瓦

耐火モルター其他耐火物各種

平壤府橋口町（電話壹貳五番）

合資會社　京谷商店

開院廣告

生儀昨秋來京城長谷川町安東病院に於て痔疾治療に從事し本年四月以來滿洲漫遊引續き東上中之處患者各位の勸告に依り再び京城に於て診療に從事可仕此段謹告候也

□痔疾專門　いぼぢ、ぢろう、だつこう、きれぢ、はしりぢ、ぬけぢ、外一般

□入院隨意

京城明治町二丁目三十二番地　元朝鮮實業會社跡（電話二一〇二番）

京城　久枝肛門病院

院長　久枝秀喜

優等清酒　賀茂鶴

廣島縣西條町　釀造元　木村靜彥

京城府鍾路（中央市場）　發賣元　河野酒店　電話二二〇八番

京城櫻井町一丁目（大正館隣り）

滿田齒科醫院

撫順瓦斯コークス

卸小賣共廉價に販賣可仕特に地方行は迅速に御取扱可申候

京城太平通二丁目　西崎商會　電話　商會用七二二　倉庫用二一七七　支店用二四〇七番

朝鮮總代理店

京城本町二丁目　釘本藤次郎本店

電話四五〇、二七七四　振替京城二五六

特約店　京城本町二丁目　町田商店

グラス萬年筆

難病撲滅　哲理治療開始

□先づ試よ初回は無料□

哲理治療は藥物を用ひず諸種の難病を治する哲學的精神療法である皮膚病、胃腸病、心臟病、喘息、脳病、神經衰弱、神經痛、リウマチス、脚氣、痔疾、子宮諸病、痳毒、耳鼻咽喉、眼病、齒痛、百日咳、夜尿小便等は最も得意とする所である

規則書無代進呈

健全哲學館大學　朝鮮分館長　江藤旭洲

出張所　京城南大門通一丁目渡邊旅館方

滯在期間　十一月廿二日より十二月廿一日まで

治療時間　毎日午前九時より午後五時まで

治療費　一ヶ月納金五十錢　一週間金三圓

但し一週間治療後何等の効果を認めざる時は返戻す

□見よ確實なる保證を□

時間表

[illegible]

十一月一日現行

用兵の眞諦　誰と語らむ

秋冷滿洲古戰場……長岡將軍車中談

◇吉林では孟督軍に說教、寒時らしい滿鐵の原案◇

冒險家には優しい後援が必要だ!!

◇哈爾賓は滿洲の一部、露も借り、日本も借る◇

日本飛行協會々長長岡中將を滿洲の鐵嶺驛に迎へた□廿日の午後二時過ぎのことである、將軍は今鮮貝來滿鐵沿線のあらゆる小驛まで飛行行脚、北は

◇雪の哈爾賓◇

から吉林方面まで巡遊てやう〳〵今し奉天に向はれるところであつた一等室の將軍は獨り取付の窓に向て澤山の名刺を整理中、ガラス窓の外には雄大な滿洲の曠野が活動寫眞のやうに走つて逃げる、陸軍中將のカアキ色の軍服、やゝ鼻眼鏡をはづしつゝ語られる腹部に天寶錢をつけた將軍は長き美髯が白く輝く「なに飛行機のはなしか、イヤ方々で熱心に迎へて呉れて滿足だ、

◇昨夜は鐵嶺◇

で百五十幾人の人々が協會に入會した、中には藝者も大勢加入して居る、それに一昨夜は開原でも百九名あり、遼陽では看護婦が十七名入會する始末、滿洲在住の[illegible]

◇冒險家の後◇

には優しい後援がつきものだ[illegible]歷史を繙いて[illegible]が飛行機にも優しい後援を[illegible]何名か加入した、[illegible]滿洲に於て[illegible]

◇市場者流に◇

[illegible]

◇奉天に近き◇

[illegible]

◇空中の戰◇

として未來ある飛行機に共鳴するのも自然の道理だと思ふのである、自分は哈爾賓に於て殊にこの感を深うした、其れは今日哈爾賓の狀態は[illegible]

◇筆をこつて◇

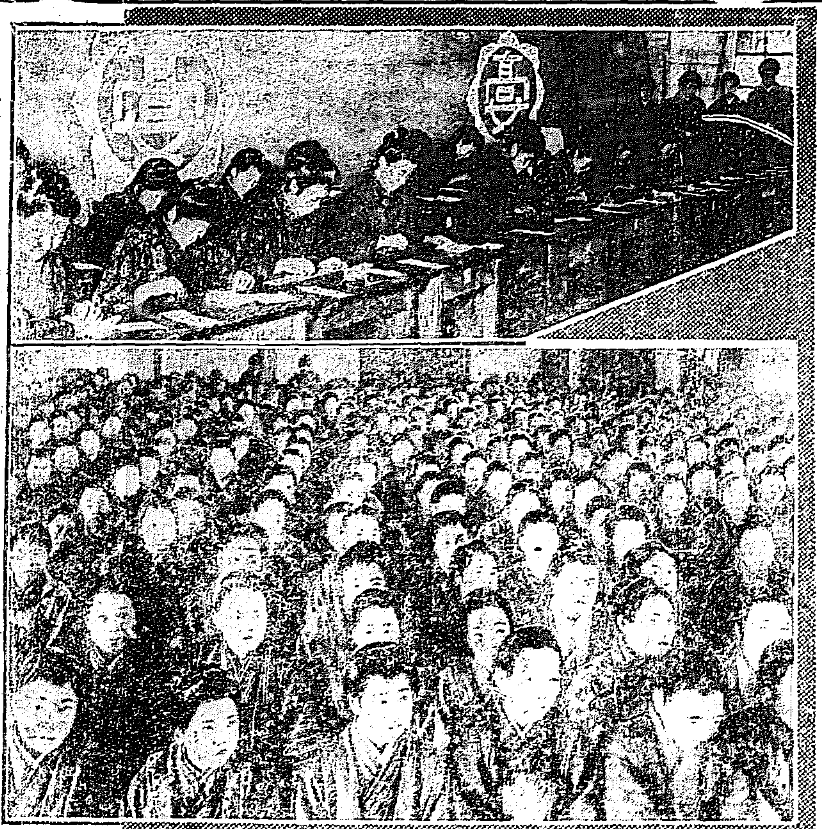
揮く「露原古戰場滿洲秋、護謙役談笑中[illegible]」と、まだありませう、[illegible]

◇東京線列車◇

は日本人ばかりだ、[illegible]

◇哈爾賓まで◇

滿洲に及ぶものと見てよからう、滿洲外とするのは間違つてゐる、云ふまでもなく哈爾賓は露西亞も借りてる、日本も借りてる、事實に於て滿洲の一部だ……午後三時四十分、奉天驛に着いた、菊池大佐を始め出迎の人が多かつた、中に



◇高女學藝演習會◇ 南山町の高等女學校では小春日の暖かい二十二日午前九時三十分から雨天體操場で開かれました、最初成田校長の開會の辭と同じく校長の[illegible]から始まつて各年生の朗讀、話方、英語暗誦對話、珠算競技など各種の演技があり最後に佐藤先生の「觀察談」があつて午後四時閉會されました、寫眞の上は珠算競技、下は一般の生徒が學藝を見てゐる處です。

商議　活氣立つた逐鹿界

其後の立候補の顔觸れ

京城商業會議所評議員選擧戰も記の如く早や旬日を餘す所となり平常節に平常節を重ね選擧界も俄かに

△色めき渡り　候補者の申込は公然名乘を揚げて東西に馳驅し有權者訪問に餘念なく選擧運動も日一日と活氣を添へ之れ亦た巧みに表裡の飛躍を怠らず白氏戰の機刻々に迫り來れり其後の立候補の顔觸れとして[illegible]たる關繁太郎、古城龜之助、谷口小次[illegible]、小谷[illegible]、[illegible]藤九の諸氏

△龍山方面に　於ては[illegible]氏も出馬すべく[illegible]用宮之進、川田秀雄、大和與次郎、秋山德次の四氏中二名出馬に確定し鐵業家方面よりは小林藤右衛門、中川浩、白土眞一の三氏中より一名出馬すべき模様にして頗る注目を惹きつゝあり[illegible]一級に於て韓相龍、白完爀、趙秦の三氏出馬に確定、二級洪應杵、嚴俊奎、金漢然の三氏再起の時あるか更に朝鮮人側に在りては南大門市場の宋氏[illegible]東大門市場の崔萬奎[illegible]今回は出馬せざる可し

世界一の大地震計

[illegible]

九管瀆職事件　火の手再燃

一時鎮靜に歸したりし九州管理局瀆職事件に關し[illegible]

支那強盜十三名の判決

支那奉天省[illegible]縣生れの苦力王德[illegible]

兇賊と格鬪

[illegible]

主金を盜む

[illegible]

五節姫の婚儀

[illegible]

讀者文藝

[illegible]

明太季節　是れから賑ふ　咸南の沿岸

咸南の海濱の砂地に白々と積む[illegible]明太魚の[illegible]

◇漁業の準備

[illegible]

◇彼等漁民は

[illegible]

卵を取りて

[illegible]

各地に移出

[illegible]

燈とし頃

[illegible]

商況

債券現物特電　公債直取引　深川正米特電　東京期米特電　大阪株式特電　大阪三品特電　大阪期米特電　下關期米特電

雜報

綿糸布強硬　米棉三十錢安　細布は二錢九十錢更に小高　續け三ヱー票は今朝遂に三百圓　既に三百十圓を唱へ　著しく割高に上る　一朝反動を惹起し其値下がり又大なる

細布三百圓臺

各地商況

南大門の廻穀

市場雜觀

買占め以て煎取　例の大石驛　氣迷ひた生　又盤廻し式　恰も兩建式　籾の入津依然多く　約一圓安　高値より八十錢安

石油は強硬　逃場手持筋絶好　英油移入杜絕　小鈍し　大豆は軟調　綿鐵の其後　眼先一段下押

仁川期米　二十二日前場　大阪　兵庫　東京二十四圓十錢

仁川米豆取引所

下關相場

釜山穀物

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎
仁川米豆取引所　大五仲買店

大阪期米

仁川、京取引所

連絡船

讀者文藝課題及び募集規定

募集規程

天氣　曇り時々晴れ

經濟調査會と大連

先づ眞の自由港たらしめよ

大連商業會議所の發案にて都督府、滿鐵及び滿洲各地商業會議所及び有力者を網羅せる滿蒙經濟調査會は其後相生大連商業會議所會頭、篠崎同書記長、神成氏等を、兩三回都督府及び滿鐵を訪問し設立に關する意見の交換を爲したる處何れも其の趣旨は賛成なるも其の

▲調査の方針 に就きて各自異なる處あるを以て設立を見るまでには猶幾多の時日を要するに至るべし經濟調査會設立に就き篠崎會議所書記長は語りて曰く從來都督府滿鐵會議所共に各自に滿蒙の經濟に關する調査機關は備り居るを以て個々の産業經濟に對する調査は都督府滿鐵商業會議所及び各方面を離れたる調査會の必要なく即ち今回設立せんとする調査會は各自の調査事項を持ち寄り之れが實行に就きて一定の方針を決議せんとする機關たらしめんとする目的なり滿蒙に於ては既に多くの調査を經て今や實行の時期に在りながら事業の緒に就かざるもの甚だ多し之れを大連より見るも然りとす即ち大連市は

▲將來工業地 として大いに興らざるべからざるに係らず工業地としての根本施設の見るべきもの何處に在りや近來盛んに勃興し來れる工場の如きも其の區域一定せざる爲め市内外に不規律に散在せるが之等も一定の工業區を設け將來市街の發展又は市區改正等の煩を受けざる事を圖らざるべからず或論者は大連は工業地として淡水に缺乏せり宜しく滿蒙の大工業地を撫順に置くべしと論ずるものあり然り撫順は工業地として幾多の條件を具備せるを以て亦工業地として起つべし然れども大連に於ける水の如きは必ずしも得るに難からず大連をして工業地として

▲將來の發展 を期せんとするには滿洲外輸送の稅關撤廢を爲し眞の自由港として滿蒙邦人の立脚基地を爲さゞるべからず大連は自由なりと稱する者あれどそは極めて淺見者流の言のみ稅關問題の根本解決を爲すに非ざれば將來大連の工業は大なる發展を爲す事困難なり現に始め大連に設立せられし紡績會社が關稅關係より青島に奪はれたる如きは新しき一例なり

▲關稅問題以外 に猶埋築其他大連市發展上根本的問題の解決少からず之等は皆な都督府滿鐵及び大連有力者等の聯合せる調査會に依つて決議さるべき問題にして更に進みては滿洲一般より[illegible]及び産業經濟の根本的方針の[illegible]行を期するを以て經濟調査會の[illegible]的なりとすと(大連)

吉長地方の産業(三)

千古に秘せられし大富源

吉林地方に於ける木材は既に[illegible]業にして滿洲物産中の一に數へられ年々幾多の輸出を爲し[illegible]向地は過[illegible]大石橋方面にも相當の[illegible]路を有せり吉林に於ける薬[illegible]例年千五百萬斤内外[illegible]

▲二千萬斤 の市場取引あり其の相場は日本の[illegible]の如く[illegible]染ず、引き延ばし[illegible]と稱するは[illegible]五六頭に[illegible]二個[illegible]從來吉林[illegible]にして製造に手數を要する[illegible]の熟[illegible]外國人の嗜好に適せず[illegible]る大豆も亦主要なる産物にして今

此の他の藥材は人參、鹿角、草根、木皮等にして其の産出額は約五十萬斤乃至七八十萬斤にして主として營口に輸出せられ木耳の産出も又藥材に次ぎ一年約五十萬斤を産し[illegible]及び營口方面に輸出せらる此の他に鋼山業と稱するに足るべきものなし[illegible]

▲私掘盜掘 者の群は山中所[illegible]に[illegible]して古來の採掘址に由り[illegible]探掘を爲しつゝあり之等[illegible]の[illegible]は[illegible]せざれども[illegible]者の數より見て決して僅[illegible]べからざるものなる事は勿論なり[illegible]にして其[illegible]は之[illegible]吉林[illegible]千古[illegible]せられたる大富源[illegible]の端緒を開くに至れるべしとは最近同地方を視察し來れる某氏の談なり(完)

新疆鑛業牧畜

[illegible]方面の鑛區は約三十餘箇所に[illegible]て石油に至りては最も豐富[illegible]西湖一帶の如きは自然に流出し[illegible]必ずしも鑿井するの要を認めざる有樣なるも未だ開採されず[illegible]に拘らず[illegible]代の[illegible]長は機械を購入し[illegible]して之れが採掘を計畫せしも經[illegible]しきを得ず[illegible]之れが採掘法を取らず[illegible]のみならず[illegible]式の採掘法を用ふる結果[illegible]して土法を用ふる結果[illegible]して廢業するの止むなき情態に在り[illegible]又牧畜業は最も[illegible]同省に適合せるもの[illegible]にて北路一帶は甚だ寒冷なるも牧草は冬期も猛[illegible]色を帶び從前の[illegible]馬の如き今や一半荒廢せるも[illegible]の[illegible]四[illegible]萬頭を[illegible]

滿洲土産

雄大なる風景 偉大なる建物

今回總督府教育視察團が大連奉天長春ハルビン撫順安東の各地を視察し歸途につき一部は平壤に立寄つて平壤及び鎭南浦の見學旅行を行つてゐるが其中の一人中村健次郎君は記者と同鄕舊知の關係あり十八日朝早く未だ手水もつかはぬところに訪ねて來て應接室のストーブに暖を取りつゝ語つて曰く

▲今度の旅行 によりて得たところ甚だ多い予等は三十日仁川を發して芝罘に向ひ天長の佳節を芝罘に祝し其翌日大連に上陸し其れより旅順奉天長春ハルビン等を視察したが滿鐵の經營する事業は實に偉大で殊に敎育機關の整備せる然も其規模の宏壯なるには一驚を喫した加之奉天長春の旅館は更なり何れの旅館に入りても防寒設備の充分に出來予等三十四名の團員が大廣間に入れられても

▲溫袍の下に 浴衣一枚しまいには溫袍を脫いで浴衣一枚になつてゐた予等のみ溫いのかと思ふと女中等も給衣位で活潑に働いてゐるそして外に出るときは外套を引つ被つて行くと云ふ按排これによつて考へて見ると我とか數枚のシャツや胴衣等を下に著て運動が十分に出來ず屑をこらしてゐるが文明の利器を利用したるスチームなどのあるところでは下著を尠くして外に出る時

▲毛皮の外套 でも著る樣にしなければならぬこれ等は卑近の一例であるが要するに今度の旅行によりて得たるところ甚だ多いハルビンで巡査と見違へられて歡待せられたハルビンに往つたところが例のケレンスキー内閣の崩壞してケ氏の行方不明との報道の傳はつた時であつたハルビン市街の秩序亂れてはや夕方から強盜が出沒する兵士が

▲銃劍著けて 暴行をすると云ふので市街は一般に恐怖と殺氣とに充たされてゐた予等の團體も旅館より夜間外出を禁せられてゐた旅館を出て煙草屋へ一寸入店へ往くと女將が昨今市街の方も甚危險で恐ろしう御座います今朝長春の方より日本巡査が多數在留民保護の爲め來るとの話を聞きまして喜んで居りましたが貴下方

▲幾人御出で 下さいましたかと予等の金筋帶劍を見て非常に歡待せられた其處で予等は巡査でない朝鮮の教員で視察に來たのだと話すと其婦人は甚しく失望落膽した樣子であつたのには同情に堪へなかつた平壤に來て我家に來た樣な氣がする滿洲旅行中は

▲實に雄大な 風景と偉大なる建築物とを觀て驚くばかりであつたが殊に旅館の如きも何れに往つても團員すべてが大廣間に入れられ心もちも落付かなかつた昨日平壤に來て松靑く水淸き壯なる景色を臨み云ふべからざる氣分になつた殊に柳屋旅館に入つて六疊八疊の部屋に入れてもらつて何だか我家に歸つた樣な心持になつた文明的建造物たる滿洲のホテルも良いが純日本式の柳屋旅館の如きは又予等に取つては云ふべからざる快感を覺えしめた今日は南浦を視察して明朝平壤に歸り一般の教育狀況を視察し二十日の午後一時三十分の列車で歸京する豫定である(平壤)

▲輸出增大 し平均五六十萬[illegible]の大豆を吉長鐵道に由り長春方面に輸出するに至れり蘇[illegible]地方の産物として數へられ其の販路は主として奉天營口にして年額平均四十萬斤を産し其の價格は一等品百斤二百五十二三等品百

徵兵と軍港計畫

徵兵は四萬人内外軍港は烏渡十餘個所

▲支那政府は歐洲に支那兵を派遣し聯合軍を援助するは世界の大局より打算して至要の事態なりとし[illegible]に新に[illegible]の建議を容れ全國を東西南北中の五區に分ちて徵兵制度を施行すべく中部は[illegible]の習慣ある地なれば歩兵の召集を行ひ北方[illegible]の區にありては騎兵を募集し南東安徽方面の住民は耐勞忍苦に富めるにより主として輜重兵及び工兵を招募し沿海地方の人民中より船の操縱に習熟せる者を海軍兵として招募する事とし既に徵兵を派遣せるが差當り徵兵を實施する地域は北京直隸山東安徽と限定したる由にて其徵兵數は四萬人以内なりと

▲軍港を建設するは海軍の前途に對し甚だ關係ありとし前日特に部員を派遣し沿海地方の調査に著手したるが軍港と爲し得べき個所は約十餘個所あり奉天の胡蘆島(一連山灣)直隸山東間の廟島浙江の象山灣福建の三都澳廣東の楡林港等は最も有望なるが之れが修築には巨額の經費を要するにより同時に實行する能はざれば徐々に實施する爲め部員をして各港の形勢說明書を作成せしめたる上修築の方針を確定すべしと(奉天)

元の純利を得る事確實なりと最近歸朝せし[illegible]勸誘の爲め上海に赴ける同省[illegible]賢[illegible]氏は語れり(奉天)

老鐵山金鑛

日露戰跡を以て其の人口に膾炙せる旅順口老鐵山は古來金鑛を以て聞ゆ過般佐渡金山技師一行は特に同金山の實地調査を遂げたる處其の含金量も豐富ならず且つ豫定せし如き大鑛脈は無かるべしとの事にて以後同金鑛は其の儘放置せられたるが今回久原家北滿方面の鑛山探險隊の内より一部の技術員を派遣し充分なる調査を遂ぐる事となり其の結果として附近の鑛跡は案外有望なる鑛山の續々出現するやも知れずとの事なり(大連)

江州の朝鮮人街道

今度の特別大演習に江州で朝鮮人街道といふ語が屢々用ひられたそれは野洲村行畑村より北に分れ中仙道八幡町を經て彦根に出づる三里許を經て坂田郡鳥居本驛に出づる演習部の人も陪觀者も合點がいかないといふ譯は此[illegible]道路にして德川氏に至り[illegible]の朝鮮の使臣を聘せし際に路に任じて之を周旋せしめたり寛永十三年十一月井伊直孝の時來聘せし正使任絖副使金世濂從事官黃㦿一行四百七十餘人の時[illegible]

京城の入營者

京城の入營者は去る十五日の紙上に報じたる外其後出發すべき人々は

(住所)(兵科)(氏名)(原籍)

[illegible]

▲奉天郵便局の電話交換について世間の批難も[illegible]

演藝案内

黄金館

電話二六三七 二六六

[illegible]

大正館

井町八七三

[illegible]

壽館

京城本町 電話一〇五〇

[illegible]

有樂館

[illegible]

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番

[illegible]

大阪堂島米穀取引所仲買人 今延商店

平麥製粉機 小平合名會社

アドリナリン 泰昌製藥株式會社

竹葉醫院 院長 竹葉善松
花柳病 婦人病 淋病 內科 耳鼻咽喉科 黴毒 腦神經衰弱、神經痛 ロイマチス、肛門病

醇良 清酒 金露 發賣元 大塚合名會社京城支店

艶製造販賣 皮より強い値の安い 專賣日印櫛製艶 日ノ丸國旗附屬品 毛布二枚續き 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替 高木旅行用具店 電話一三四番

淋病新藥ツヨール 製造元東京市日本橋 ツヨール商會 發賣元大阪道修町 田邊五兵衛

損德の別れ時! 此際お買求めになる御方樣は一生お德な人!! 專賣特許 僞物御注意 龜の子たわし 發賣元 東京本郷 西尾商店

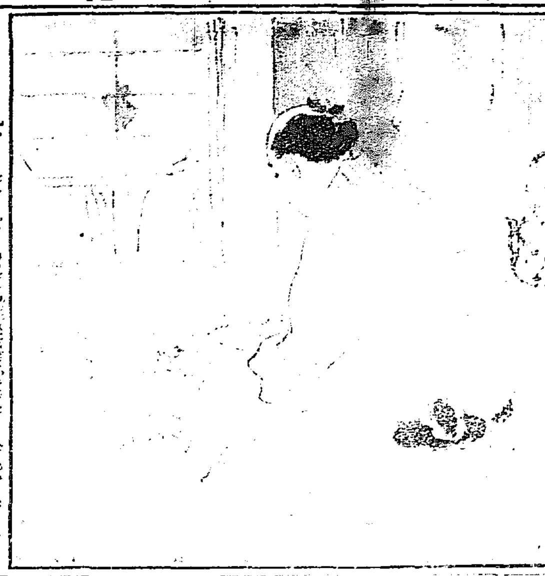
大賣出 お樂しみの深い福袋 壹圓五拾錢毎に壹個進呈 十一月廿三日より同廿七日迄 京城明治町 唐津呉服店

左甚五郎

第九十二席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

下谷に廣徳寺といふお寺があります、是は前田家の御位牌所でございまして、前田家中興の御先祖は前田大納言菅原利家侯、御法號を廣徳院殿と申し上げ、御墓は御國表の加賀の野田山といふ處にございます、代々の遺骸は國表の野田山に納めまするが、江戸表に御位牌所として廣徳寺といふのを建立になりました、下谷では名高いお寺でございます、此の表門を掛替様から御普請になるに就て棟梁政右衛門に御沙汰になりました、乃で人の目に止まりまする表門のことで、手際を見せて立派に出來か



したいものと思ひ、甚五郎に相談をいたしましたから甚『承知しました、私が綺圖を引きませう』と茲で甚五郎がすつかり綺圖を引きました、政右衛門大きに喜んで是から廣徳寺の地中に下小屋を掛け自分も毎日出入り甚五郎も共々出入りまして彼是を指圖をいたしまするとる或晩方のことで『○御免下さいまし、政右衛門さんと仰る棟梁のお宅は此方様でございますか』政『ハイ、大工の政右衛門は手前共ですが何處からお出ですか』見ると飛脚でございます、赤紙付と云ふ急ぎの手紙、此は甚五郎の許へ來たもの乃で當時は諏訪町に別居いたして居りますからそれへ人を付けて此の飛脚を遣はしました、甚五郎は手紙を受取り披いて見ると飛彈國荒木郷稲田村から參りましたので、親父の甚右衛門が大病で直に歸國をするやうにと云ふことでございます、政右衛門にも此話しをいたし親孝行の甚五郎が飛脚を贈して直ぐ是から出立といふ、然しもう日が暮れるから今から出掛けた所で夜通し歩く譯には行くまいから兎に角明日のことにしなさるが宜いと政右衛門夫婦も參つて取敢ず旅の調度を取揃へ萬端支度の手傳ひをして呉れました、甚五郎は親父の病氣と聞いてソハ〳〵、心もそゞろ落着かず、夜も碌に眠る所ではございません、宿夜の明けるを待つて諏訪町の我が家を出立といふことになりました、政右衛門も甚五郎に別れますのより片腕を捥れるやうな心地、政『生憎今度廣徳寺の御門の普請、お前さんが居てくれるとどんなに氣強いか知れないが、今國へ行かれてしまふと實に俺も片腕が挫れたやうなものだ、然し阿父さんの病氣と云つて見れば何うも仕方がない、まア國へ歸つて阿父さんの病氣が少しでも快つたら成るべく早く歸つて來ておくんなさる樣』甚『エ、もう御仰るまではない一方ならず棟梁のお世話になつた御恩は片時たりとも忘れはいたしません、彼方へ參つて樣子を見て少しでも快ければ直ぐ引返して參りますから、普請の方は皆なへも頼んであるし、兎て棟梁にお話しをした通りの始末、決して御心配はございません、兎に角直に歸つて參りますから、御機嫌宜う』と茲で政右衛門に留守宅のことを頼み別れを告げて我が家を立ち出で、門跡前を一直線に廣徳寺の門前を突當りまして、上野の山下袴腰に附いて廣小路へ出で、池の端仲町から切通しを上つて本郷へ出まして、森川町から追分、彼處から

何がお好きと聞きや頬を染めて木村屋パンよと小さい聲（京城明治町電話六七）

[illegible]ヶ宿を一直線に[illegible]參り、板橋を越へて[illegible]する[illegible]田の[illegible]、浦和もはや越[illegible]して、次第る人に大宮、[illegible]用意の[illegible]で、親の病もこころざる[illegible]、餘所目に[illegible]一夜二夜と日を重ね、行く[illegible]急がれて、今日は松井田は又、安中さきへ聞くからに、米の松井田ほどもなく、阪本の宿へ着りきした

十一月廿四日九星 [illegible]

十一月廿五日九星 [illegible]

醤油 味噌 ヨほまれ 遠藤商店 電話九八二番

蛇印 アンチピリン丸 かぜねつ特効薬 △求めよ!! △用ひよ!! △なをる!! ●感冒●ねつ●流行性感冒●頭痛●麻疹●リウマチス●おこり ◎本劑の特長は最新高貴藥の配伍 ◎絶對に副作用なし ◎胃中にて溶け易し 十錠十五錢 廿五錠 用包 金五拾錢 大阪 東京 本舖 丹平商會 賣捌は全國各藥店

周易 明治町二丁目 介石堂 岡村介石

診斷 明治町御園西敎會坂下 中村醫院 電話一五八三番

強胃消化錠 マーゲン 大阪上本町九 田畑保榮房 特約店 京城南大門通二 新井藥房

M印 リマムゴ

りん病 [illegible] 京城黄金町三 山田文明堂藥房

軍隊毛布 [illegible] 東京神田 東京織物仲卸店

公告

京城地方法院

[illegible]

天下一品 白鶴 増本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九

時計貴金屬指輪眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂

渡部製靴店の擴張 渡部製靴店 渡部支店

東京帝國大學三宅博士發見 蛋白 澱粉 脂肪 消化劑 プロテアーゼ 星製藥株式會社

御料 御園白粉

御園 薄化粧法

自然の美しさをその儘に、床しく匂ふお化粧ぶりは、氣品の高い御園式薄化粧法に限るので御座います。そのお化粧の順序を申上げませう。

(一) 平常から、脂肪性の方なれば御園の露〔化粧水〕を、荒れ性の方なれば御園四季の花〔濃厚化粧水〕を洗面後、入浴後に欠かさず用ゐて皮膚を整へ置かれる事。

(二) 御園クレーム〔薄化粧用白粉下〕の極く少量を掌へうけ、兩の掌にて擦りひろげて襟脚から頸、頸から顔へと一樣に力を入れながらムラなく塗り込まれる事。

(三) 御園の月〔水白粉〕を掌に滴し、襟へ二重に塗込み、お顔は薄く御園の月〔淡紅色水白粉〕を掌にて塗込み、始は叩く樣につけて、撫伸ばし乍ら乾かされる事。

(四) 次に、叩き刷毛にてお顔全体の白粉を叩いて落付け、斑のある處は右の刷毛を少し濕らして刷き伸し乍ら、生地の儘の美しさを保つ樣に補ふて行かれる事。

(五) 仕あげには、御園の花〔淡紅色粉白粉〕を極く少量し鼻叩刷毛へ含ませ、目の縁から兩の頰へ刷かけて柔かくぼかし。夜化粧なれば少く分量を多くされる事。

(六) 乾いた手拭を指先に卷付け、眉、睫毛、鼻孔、唇等の白粉を落し、堅い紙の手拭の端へ紅をつけ睫毛を拭さ、最後に口紅を唇の内側からさして置かれる事。

是で御園式薄化粧が出來るので御座います。尚ほお化粧崩のお顔直しには御園紙白粉が適當で厶います。

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(315)

内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七九 二〇九番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候 和洋金物一式 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店

醇良無双清酒 無害衛生品質無双 首藤合名會社 首藤京城支店 首藤釜山支店

入院隨意 内科小兒科 京城旭町一丁目 小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

京城日報
二十三日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

[illegible]同國の統一に努力し居りしが[illegible]一度揚がりて以來種々の錯誤に逢著し最近更に長江三督軍の反對に遭ひて大頓挫を來せるに加へて又々湖南の形勢一變の大事件に接し非常なる窮境に陷り[illegible]むるに至りしは其の裡面に於ける勢力の組織的運動の結果に外ならず卽ち約言すれば北洋系中

▲直隷派軍人[illegible]結束して[illegible]

[illegible]李純の如きは馮國璋氏の子郎黨と稱せらるゝ頃來三督軍の軍機借款風潮山問題等にて強硬の態度を持し[illegible]理に反對し且つ政府の方針[illegible]として提起せし南北調停條件[illegible]王珍氏なるが根抵深く勢力亦大にして其の

▲組織的計畫は容易に段祺瑞氏をして今日の窮境に陷し入るゝに成功したり加ふるに例の外[illegible]を許するものなし北軍は今や夥しき[illegible]合王汝賢氏副司令[illegible]隷派軍人に指揮され[illegible]に乗せられ初[illegible]に南軍と戰ひて

▲中央關係脫離の結果[illegible]派は此[illegible]に閉息すべしとも思はれず徐樹錚氏等を始め督軍中には段氏の抑制ありと云はるゝにも拘らず既に靈播の色見え又復擡頭せんとする[illegible]に終り次で四川に入りし呉光新氏も亦辭表を呈出し段祺瑞氏は非常なる難境に陷り且つ前後の經過より[illegible]一幕を演出せらるべし

支那漫遊

張家口より大同

蘇峯生

四千八百尺の高原、支那山西省大同府停車場の汽車中より啓上。

二十三日の夜、張家口停車場に、特別汽車を停むるや、恰も大海中に孤舟を泊する如く、車體動搖甚だし。亦た以て朔風の凛烈なりしを知る可し。朔來の寒、東京十二月下旬の比の如し。午前七時半、通常列車に聯結して發す。此れより一百十三哩、大同府に達する迄、汽車は歩一歩登り路を駛る。路は概して羊河に傍ふ。土地曠漠、随處に土城、土壁の廢殘せるもの多し。一望林樹殆んど落葉し、而して樹身何れも東南に俯す。稍や早く風勢を知る可し。西灣堡に至れば、左右漸く山を見る。停車場の南約五里、科甲溝あり、是れ古來山西の分境也。此れよりは雲中也。陽高縣にて午餐す。停車場の東南三里強に白登山あり、是れ漢高祖が、冒頓に困められたる地也。

登登鐵路傍ニ羊河。嶺上寒煙掠レ雨過。十月雲中嚴霜早。蒲林黄葉已無レ多。

九月とすれば、特に妙なれども、折角紀實の作なれば、故らに十月として置く也。實の爲めに詞を害す、予が詩人たる能はざる所以此に存す、呵々。

斯くて午後三時、玉河に架したる、千八百呎の鐵橋を過ぐれば、已に大同府停車場也。玉河は金時代には、御河と稱す。桑乾河の上流の一也。

(大正六年十月廿五日午前五時、大同停車場の特別汽車室にて、室外の具燈さへ吹かる聲を聞きつゝ。)

大同府

大同府停車場には、知縣其他の官憲出迎へ、直ちに知縣の案内にて城内に赴く。停車場より城内迄は二十四五町もある可し。先づ第一城門を入り、更らに曠郊を過ぎ、次ぎに第二の城門を入りて、市街となる。市街は清潔と云ふ能はざるも、古色蒼然たり。此地は春秋時代には、北狄の居にして、戰國には趙に屬し、漢には平城縣として、鴈門太守の支配所たり。北魏拓跋氏此に都し、唐に於ては雲州と爲し、大同節度使を置き、遼、金に於ては、西京府たり。今は大同縣にして、鴈門道の廳所あり。此邊石炭の産地にして、街頭何れも一人一個以上摚ぐ能はざる大塊を見る。仔細に踏査したらば、其他の鑛物も少からざる可し。予等は先づ有名なる大華嚴寺に詣す。數十級の石段を上りて行く。是れ遼の清寧八年の建立にして、當時の石幢尚存す。而して其の棟梁上の題[illegible]を望む可し。明の洪武年間に改築し、同じく[illegible]年間に修理し、更らに乾隆年間に再修せりと云ふ。而して此の高き殿堂の上に、數十百の鴿が、其の間に巣窟を開し。翔る毎に一種微妙の音を、空中に發するの狀は、宛も天女の合奏を、空中に聽くと云ふも浮辭にあらず。此れより九龍壁を見物し、道尹廳にて、道尹の御馳走となれり。道尹は當時公用にて、管内巡視中と云ふ。知縣は三十八歳の壯佼にて、日本語は除り達者ならざるも、日本の下情には、頗る通曉し、常盤山、太刀山、鳳龍、梅龍、天プラ蕎麥、兩國の見世物、口を衝て出で、時た予等を驚かしめたり。而して更らに驚嘆せしめたるは、其の酒量也。池上本門寺の御會式にても持ち出す可き、短冊形に赤く張りて、何やらん黒々と大書したる大提燈を、左右に一個づつ携へ、憲兵隊長が騎馬にて先導し、道尹自用の支那馬車に騎りて歸車せり。予等野人も、支那の田舍に來れば、斯く威張らせらるゝ也。所謂る無鳥里の蝙蝠とは此乎。呵々。

(大正六年十月廿五日午前六時、天色漸く明く、昨夜來の風聲今尚悲し、大同停車場の特別汽車室に於て)

伊太利の形勢

最近戰報伊太利軍は、墺獨侵入軍に對して相當の抗拒力を示すものあるが如くなれども、敵軍の進勢猶ほ已まず、或は伊軍をして更に退いて自ら守るの已を得ざるに至らしむるやも知るべからず、只だ敵軍の力自ら限りあり、英佛軍の援助亦遠からずして其功を奏すべくして、伊國戰線の爭鬪の一段落を告るは蓋し近きにあるべし。伊軍最近の失敗以來、世間若りに我日本の陸軍を出して之を援助すべしと説くものあり、甚だしきは我帝國内閣は、出兵の可否に就き決定する所ありたりと稱す、然れども吾人の知る處を以てすれば、我帝國政府は未だ何國よりも出兵の要求を受けず、又我より進みて歐洲戰線に陸軍を送遣すべき事情もこれ無きを以て、世間傳ふる所の伊國出兵の一事の如きは全く坊間の臆測に過ぎず。實を云はゞ伊太利は決して兵員に缺乏せず、開戰以來自ら進みて墺國の領土内に入り、去八月まで勝戰連捷を誇り居たり、其の獨軍の來るに逢ふて潰敗したるは、果して何の爲めなりや、英佛政府當局者すら今以て其事情を審かにするを得ずと稱す、此度の失敗にて俘虜となるもの二十五萬を算すると云へば、其損失も決して小なりとはせざれども、退いて自國内の陣地を守るに於ては、其戰線は大に縮少せらるべく、輸送給配亦甚だ容易なるや論なく、此際英佛軍若干兵を援助して其士氣を鼓舞するあらば、復た其勢力の不足を感ずることなかるべきなり。初め佛蘭西人及び伊太利人中、我日本軍をしてサロニカを守備せしむると説くもの寡からず、乃ちサロニカは英、佛、伊、露、羅馬尼、塞爾維聯合軍共同して之を支持し、中歐同盟軍の巴爾幹に於ける行動を制扼する處なり、而して敵は強て此方面を犯さず、味方は單に大軍を駐屯せしむるだけにて、敢て進撃を企てざるを以て、若し我日本軍をして此に駐屯せしむるあらば、聯合軍は各々其特殊の戰線に就くを得るの便あり、是れ其日本出兵を冀ふ所以なるべしと雖も、日本出兵要求の理由にして單に之に過ぎざらしめば、其事の本末輕重を誤るものたらざるを得ず。

今日我味方の最も急とする所は、其海運不便にして、物資軍需品の供給意の如くならざるにあり、現在の戰線兵員に對してすら、猶ほ船舶不足、食糧其他必要品の缺乏を憂ふるといふ場合に於て、若し我日本より遙々海洋を渡りて、五十萬七十萬の兵をサロニカに出さむか、限りある船舶を我出師の爲めに專占せしむる爲めに、我味方たる協商諸國の被るところの不便不利蓋し測るべからず、こゝに於て、諸國は必ず其不便不利を厭みずして、我日本の陸軍を不用の地に運ぶるの愚を敢てせむや、且つサロニカ其ものゝ運命に關する所は、伊太利戰線の模樣如何によるものたるを能はず、伊軍敗退ヴェネシア平原の大部分敵手に落つ、萬一にも不幸ヴェニスを失ふが如きことあらむか、アドリアチック灣は敵の跋扈跳梁に委するの已むなきに至るべくして、協商國側は其作戰計畫に一大變更を加ふるの外なし、是れ最近に及びて世間復たサロニカ守備問題を云々するものなき所以なり。

丁巳十一月忘機吟社席上賦之　松田學鷗
諸賢高和
敢擬張衡意氣豪。天涯回首白山高。癸寒未得攜人句。一笑沙塵滿鬢毛。

次韻　大石松逕
六十笑吾心欲豪。青鞋欲踏白山高。披圖察路幾千里。鏡裏何須檢鬢毛。
評曰意氣壯健可美可美。

次韻　田淵黍州
歡今日遇詩豪。獵塔園天色高。默坐悔吾詩未就。唯徒研上撚霜毛。

次韻　永井烏石
測地量天意氣豪。笑挑得激斗牛高。驪人別有烟霞癖。千里寄言入不毛。
評曰旋轉灝氣浩浩滿箋。

次韻　兒島九皐
斯筵何幸會詩豪。美見吟成格調高。分韻欲酬無好句。只慚默坐撚斑毛。
評曰只是謙辭耳。

次韻　大隆鴻仙
宦遊男又是詩豪。句恰如唐格調高。搭洞公園雅筵夕。撫吟搦子愧霜毛。
評曰清容如話。

次韻　森下半狂
蕨月如流氣漫豪。淺陽秋滿雁聲高。七年回顧少知己。北客空敷白髩毛。
評曰無限感慨。

次韻　長谷川鳩携
朝提筆披幾英豪。夢白裏山雲外高。今日詞華爛滿眼。龍王潭畔萬鶯毛。
評曰商作奇異宛如龍涎。

次韻　茂泉鶴堂
八道踏來心字豪。遍踏千嶽萬峰高。偶然一夜風流興。午起煙雲飄鬢毛。
評曰前半冥是淵大之筆。

誰 (132)

布施生譯

頼太郎は老人の言葉の端々を味ふと共に老人が飛でもない邪推をしてゐる事に氣がついた彼は急でそれを訂そうとした『御老人暫く―』言葉をかけたが却つて惡かつた、其聲を聞くと今迄優しい夢心地に浸つてゐた老人の感興は忽ち破れて恐ろしい怒が胸を衝いて火のやうに湧上つた、老人は半狂になつて『だまれ』と一喝した後隙もなく様々の惡態を吐出すやうに浴せかけた。暫して少し氣が静まると老人は新らしく二人を睨据ゑて『己は貴様等二人を成敗にきたのだ、しかし女や武器のない男を[illegible]殺しかねる―』頼太郎は[illegible]手様で抗議を申込んだ、老人はれを睨付けて、『[illegible]命は己の思ふ[illegible]し此儘で貴樣を成敗はしたくない、見れば其處の棚にも短銃があるやうぢや、さあ取れ、それを取つて貴様もそれで[illegible]』[illegible]老人は短銃を構へた[illegible]人は短銃を[illegible]、頼太郎ももう堪ず自分も短銃を取つて[illegible]『さあ彼方へ往つて立つて居れ[illegible]』老人は室の向側を指で知らせて、『己は此處に立つてゐる、もう一二分で時計が鳴るからそれを合圖に二人一所に彈機を[illegible]』恐ろしい其場の様子に[illegible]夫人はもう安靜としては居られなかつた眼に見ゐるものは夫と子息とが眼の前で互に果合はうとする[illegible]い有様である、夫人は[illegible]忘れて大手を擴げながら今や銃口を離れやうとする彈丸の前に立塞がつた『もう〳〵何もかも堪らず申上げます、之は許してやつて下さいまし』頼太郎を擁ふ夫人の言葉は勿論母の愛から迸つたものであつたが老人はそうは取らなかつた、彼は猶々激して手荒く夫人を攫掴み『ね、其方へ寄つて居れ』と罵りながら片隅へ投飛した、夫人は婆ますに起回つて今度は頼太郎に縋付き自分の身體を楯にして、『皆私が惡いのでございます、之は何にも知りません、私一人御成敗に遇ふ筈なのでございます』見した老人は一時にのぼせ上つた、そして此忘はしい一塊の男女目懸けて猶豫もなく短銃の火蓋を切つた、激しい音が空氣を劈いて徇に狂ひは無い筈なのが頼太郎も夫人も不思議に別條は無かつた老人は續けて二發三發と打つて放した、四度目に彈機を上げた時戸を蹴放して飛込んだ人影があつてあつと言ふ間もなく老人の手から短銃を捥取り老人を長椅子の上に押倒して其儘地に夫人の方に走り寄つた

△廣告▽
諸鑛物分析の依頼に應ず
京城日之出町
志岐組鑛山部
電話長三〇五番

朝鮮總督府官房 警官練習所教師 丁奎鳳氏著
日鮮對譯 警察用語
定價五十五錢 郵稅四錢
[illegible]
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

▲女工募集 内鮮人
△募集數 内鮮人二百名
△年齡 十五歳以上卅歳以下
△給料 [illegible]
△場所 三坂通 [illegible]
△工場 [illegible]
△寄宿舍 [illegible]
京城三坂通 (電話九〇五番)
齊藤製糸所

最大徳用の燃料
石炭 木炭 煉炭 代用品
☒京城電氣株式會社製☒
瓦斯コークス
價格低廉火力旺盛煙筒掃除を省く燃え付よき
壹噸二十九圓 (持込共)
壹叺一圓三十錢 (持込共)
一手販賣店
京城旭町一丁目 戸澤商店 電話九八四番
京城旭町一丁目 横山屋商店 電話貳參參五番

殺虫 防臭 殺菌
黑岩式 固形石油乳劑
定價 一打入 金二十八錢 半打入 金十五錢
▲本品の特徴 [illegible]
▲効用 [illegible]
▲使用法 [illegible]
朝鮮總發賣元 京城本町 熊平支店
長電話六二四番 電話三壹一五番 振替京城貳貳番
●特約店募集 至急御申込み被下度候

本日より向ふ十日間圖書特賣仕候
京城本町二丁目 巖松堂書店交換所 電一、二六六番

株式會社
常盤商會朝鮮營業所
電話長五七六番
新營業所 京城府太平通二丁目三二六番地
社長 松方五郎

△貿易部開設移轉御披露
拜啓時下益御多祥に被爲涉大慶至極に御座候每々御引立に預り難有奉萬謝候弊所今般上記の場所に擴張移轉仕候從來の外國火災保險代理業の外更に貿易部を開設し左記概要の通り營業可仕候間何卒多少に不拘御用被仰付度此段御披露旁御願迄如此に御座候　敬具

營業概要

外國火災保險部
英國リバプール、ロンドン、グローブ火災保險株式會社日本總代理店

貿易部
一、銑鐵、鋼板、鐵管、鐵棒、レール其他の鋼鐵類
一、燐銅、燐錫、滿俺銅、滿俺鐵、硅素銅、硅素鐵等
各種合金、メタル類
一、黑鉛、重石、水鉛、硝石、硅石、其他鑛石類
一、艦船、兵器、礦山、鐵道用材料機械器具類
一、電氣機、瓦斯器及諸器具類
一、琺瑯鐵器、電氣計器類
一、漁網防水防腐染料

◎露都及び莫斯科の飢饉 軍隊の輸送を禁止す

露都及び莫斯科の食糧非常に減少し纔に四五日を過し得るのみ將に大飢饉に迫らんとす戰線より自由に退却中の軍隊は餓虎の勢にて露都及び莫斯科に押寄せんとしつゝありレーニン一派の露都司令官は斷然軍隊の入都禁止命を發布し且つ鐵道に命じ軍隊の露都輸送を嚴禁せるも其効無く潮の如く寄せつゝあり(哈爾賓電報)

◎王政復興の聲明

ゼネバ來電=露國ニコラス太公はカルコフにてカレヂン將軍と提携し同將軍を哥薩克兵の總司令官に任命せり而してカレヂン將軍はニコラス太公に約するに王政復興を以てしニコラス太公を攝政とする旨を聲明せり(倫敦電報)

◎獨墺軍ヴェニス市保護

獨墺軍は羅馬法王に對し獨墺軍がヴェニス市を占領するも決して同市に損害を與ふるが如き事を爲さゞる旨を誓約せりと今やヴェニス市の市民は續々同市を去りて避難し其十八歲以上四十五歲以下の男子は悉く戰線に向へり(羅馬電報)

◎獨軍進行詰る

伊墺戰線に於ける獨軍の進行は行詰りとなれり(羅馬電報)

◎軍事會議と米國

英國藏相ボナー、ロー氏は議會に報告して曰く政府は米國政府より左の公式通牒に接せりと即ち大統領ウイルソン氏は聯合國會議のみならず最高軍事會議にも參加せしめん爲めハウス大佐を先發しブリス將軍を其軍事顧問とせりと(倫敦電報)

◎日露交換文書發表期

二十一日樞密院會議に御諮詢ありたる日露國際交換文書の件は追つて兩國調印の上發表せらるべし(東京電報)

◎文部省新事業

文部省は七百萬の豫算により四箇年繼續事業として專門學校八校を新設すべく來年度豫算に計上せり(東京電報)

◎總監一行著發

政務總監一行は二十二日正午奉安丸にて城津著市中を視察の上同夜淸津に向へり(淸津特電)

◎長岡中將講演

長岡中將は二十一日奉天に於て飛行機其他に關する講演を爲し二十二日撫順に赴き同じく講演を爲せるが二十三日は張督軍以下支那側高官に對して講演を試み二十四日朝奉天發天津へ向ふ可し(奉天特電)

◎有吉總領事通過

有吉總領事は二十二日午後六時半安東經由北行せり(安東縣特電)

◎入見局長動靜

入見朝鮮鐵道局長は二十二日來奉せるが同日撫順に至り視察の上二十四日發北京に向ふ筈なり(奉天特電)

◎平井院鐵技師

鐵道院技師平井喜久松氏は北滿及び滿洲各地視察中の處午後六時半通過南行せり(安東縣特電)

◎三井大連支店長

三井物產大連支店長古郡良介氏は沿線視察の爲め午後四時半五龍背著二三日內に來安四日間滯在視察の上歸任の筈(安東縣特電)

◎北鮮除隊兵

北鮮部隊滿期兵一千餘名は二十二日天長丸に乘船二十三日大阪に向け直航す可し(淸津特電)

◉優秀なる步兵戰 ボールドウヰン氏談

大演習陪觀感想

駐日米國大使館附武官砲兵大尉アール、ヂ、ボールドウヰン氏は十九日夜釜山上陸二十日の上二十一日午後北行せるが同大尉は往訪の記者に向ひ左の如く語る

日支銀行專務理事たる可き柿田常次郎氏(日本興業銀行[illegible])

本年六月頃駐日英國大使館附武官が鮮滿に於ける日本駐屯軍の狀態を視察せられし際陸軍當局より予にも同行しては如何との勸めありたれど予は其際事故の爲め其の意を果す能はざりしが今秋江州に於て擧行せられたる陸軍大演習に陪觀の榮を負ひたるを以て此機會に於て朝鮮滿洲の

△軍事視察を 爲すべく來鮮せり、又た朝鮮滿洲に於ける旅行は今回が初めてあれば見る所新たなるが殊に珍らしく感じたるは朝鮮婦人の服裝にして乳房を現はし居る樣奇異に感ぜり偖て本年擧行の陸軍大演習を陪觀したるに軍容の嚴肅なると將卒の勇敢なる動作は予等外國陪觀武官の感歎せし所なり戰術は各國と差して異なる點を發見せざるも唯外國殊に米國に在りては斯かる演習に適當なる地積を有せず日本には稻田の收穫後を利用し廣漠たる地積を演習地に充用し得るの便利あり此の點は他國の得易からざる所なり予は主として

△步兵演習を 參觀したるが日本軍人は健脚にして爲めに進退の動作敏捷なれば步兵としては最も適し居れり殊に日本軍人は糧食を各自に携帶し輕便なる調理法に依りて辨じ居れるが此の點は外國軍人の企及し能はざるところなり砲兵演習に就ては親しく觀ることを得ざりしも現時日本の軍の編成に依れば一個師團に砲兵部隊は一個聯隊を附するに過ぎず歐洲戰爭以前は各國共に同樣の編成なりしも其後戰闘は主として重砲戰を執ることゝなりし爲め砲兵を增加し一個師團に

△二個聯隊を 附することゝなり居れり日本の編成は未だ[illegible]飛行機は十二臺參加すべき由なりしも途中に於て故障を生じたるとかにて全部の到着を見ざりし樣なり飛行機は他の部隊に比し其の進步遲々たるの感あり元來飛行機は多額の費用を要するに拘はらず使用期間短く且つ經費の關係より俄かに多數の飛行機を製造することは能はざるの事情もあらん歐洲各國にても最初より今日の如く多數の

△飛行機を有 せしにあらず開戰以來其必要に迫られ今日の如く多數の增加を來せしものに外ならず要するに操縱者の養成を怠らざれば平時飛行機の數の多からざるは左迄憂ふるに足らざるべし大演習に關しての感想は先づ之れ位なり演習中に予等外國武官を琵琶湖上に案內して名勝古蹟を遊覽せしめたるは實に愉快に感ぜり湖邊は風致閑雅ふる明媚にして古雅なる建造物の點在せる殊に湖上の碧水に紅葉青松相映じて紺碧を彩る景趣は眞に畵中に在るの想を爲したりき猶演習終了後

△大元帥陛下 には御陪餐の思召を以て演習參加軍人並に予等陪觀の外國武官一同に對し御宴を賜ひたるは予等に取りて此の上もなき光榮に感じたり歐洲の戰況は捗々しく進展せず今後何年繼續すべきか今日のところにては見當を附くる能はず米國に於ては六七百萬の兵を歐洲に送るべき計畫を以て專ら其準備に著手し居れるも兵士の訓練は一朝にして能くすべきにあらず訓練を終るも演習を積み實戰に堪ふるを得るや否やを試み而して後にあらざれば戰場に出すことを得ず故に早くも三年を待たざるべからず而して米國の聯合側に於て日本軍の歐洲

△出兵を希望 せしとの噂あるも[illegible]若し日本にして出兵せば聯合軍の士氣は大いに[illegible]は火を睹るよりも明なれど然れども之れが希望は容易に達すべきに非ざるべし要は運送の海陸何れに據るも現在の狀態にては如何とも爲し難きを遺憾とす(釜山)

◎內閣問題進展せん

江蘇督軍李純氏は馮國璋氏より北上を命ぜられ廿一日著京せる筈なるが北人京に依り後繼內閣組織に一進展を見る可し(北京特電)

◎段祺瑞督軍慰撫

段祺瑞氏は張懷芝、倪嗣冲、陳樹藩、張作霖、李厚基、田中玉、鮑貴卿氏等安徽派各督軍に電報を發して內閣瓦解の顚末を述べたる後大勢既に決すと雖も吾に又策あり悲觀に及ばず切に諸賢の隱忍自重を希ると慰撫せり(北京特電)

◎信陽成都鐵道借款成立

河南信陽府より四川成都に至る鐵道借款契約は交通部と〇〇〇〇〇〇〇〇商會との間に成立調印し前渡金として三十萬元を支那側に交附せり(北京特電)

◎船渠增設出願

既報の如く過般設立許可を得たる仁川船渠株式會社は資本金十五萬圓二分の一拂込みとし三百噸迄の汽船を入渠せしむべき船渠建造の計畫なりしが今回資本金を五十萬圓に增額し其四分の一十二萬五千圓を拂込み一千噸級の汽船を入渠せしむべき船渠を設くべく目論見を變更し最近總督府に許可申請の手續を爲せり

◎除隊兵一部出發

二十日午前四時四十分龍山驛發列車にて步兵第七十八聯隊除隊兵下士[illegible]十一名兵七百二十七名は同川大尉外三名の將校引率の下に出發せり[illegible]聯隊長以下全部京城府[illegible]又京城婦人會[illegible]の饗應あり[illegible]一個殘留せり又[illegible]前九時龍山著臨時列車にて不日歸[illegible]

び新義州驛屯砲隊は八百五十名は小隅大尉引率の下に驛に下車し休息の上同四十分出發し[illegible]地に向け歸還せり

◎醫事集談會

朝鮮醫學會京城支部醫事集談會は二十二日午後三時より長谷川町銀行集會所に於て開かれ各自研究の結果を報告せり

◎阿部主幹退京

過般來滯京中なりし本社主幹阿部充家氏は二十三日朝出發歸東の途に就く

人事消息

[illegible]

□百聞百種□

▲出來秋くて困るが[illegible]貯金だけは何にも替へ難い[illegible]と云ふ貯金の時代[illegible]▲遞信部長が[illegible]

[illegible]

◉淸會線行 別府生

□元山より

▲淸會線開通式に列席する來賓や滿鐵職員を運ぶため二十一日午前九時三十分南大門驛發元山行きの列車は六輛を聯結せる近頃珍らしい……いつもは混合……旅客列車であつた、最後の貴賓車には山縣政務總監並びに隨行の遠藤秘書課長、陶山通譯官の諸氏が乘込み其次ぎは局用車で久保局長、川江工務課長以下多數の局員、尻から三番目の一二等合造車が普通來賓の專用となつてゐた

▲來賓の數は割合に少なかつた、京城管理局に出席の通知を出した人は約三十五名程あつたさうだが、結局本日淸會線行の途に就いたのは廿名ばかり、尤も先に行つた人は可なりある……其內坂出技師、和田土地調査局總務課長、中村事務官、村瀨通運取締役、全州農工銀行長などが主な人々、新聞記者は小生共に五名である

▲空は限なく晴れ渡つて近頃稀れなる好晴の日であつた、[illegible]季節は正に初冬であらうが、車窓より野にも山にも暖たかに照り渡つた陽光を見ると、十月中旬の旅と云つた樣な氣もする、唯落葉樹は既に枯木になつてゐるが草木の葉は枯れである、又は閉ゐてゐる木の葉は全く褐色に萎んで黃葉紅葉の眺めはドコにも之れを見出せない、風に戰ぐ薄の簇生にも、ヤヽ極月の近い事を思はさるゝ

▲鐵原では驛の構內に官民有志や小學校並に普通學校の生徒が政務總監一行を送迎した、車內のヒートが可なり熱い、しかし政務總監搭乘の貴賓車は最後部であるため、ヒートの力が遠くて十分に及ばぬらしく、車中割合に冷へてゐる接待係長の川江氏は一般の來賓車にやつて來て「此車は南極のやうに暖たかいが、總監の貴賓車はお氣の毒千萬北極だ」と話して居たが、然し南極と云はれるだけあつて此列車はムヤミに暑くて一方の戶をあけておいても上衣を脫がねばならぬ位、いさゝか苦しい氣もした

▲午後二時福溪に著き元山發の列車に行き合うと綾山、桑原咸北、[illegible]咸南の兩道長官が政務總監出迎へのため見へた、桑原長官は十八日に鏡城を立つて來たとの話であつた、洗浦南原の薄の波、冬枯れた落葉樹の木立と、禿兀たる岩、淸らかな溪流を見る三防の形勝を過ぎる、南山驛を出づると、安邊平野際涯もなく打續ゐて、眼界の盡きる所は永興灣の紺碧である、此邊秋收が全く濟んで、野面には働らく人の影を見ない

▲午後五時、元山驛著、村地府尹初め多數の官民が迎へて居られた、政務總監の一行は府尹官舍に、其他は大東館、[illegible]館、天金等に夫々宿泊すると共に西川元山府尹が小生は小幡朝鮮新聞社長から丸芳に招待された

▲元山の旅館は山本氏の虎狩隊で騷がせられてゐる、永興の方に出動してゐた本隊が今日歸元したとかでドコも大變な賑はしさである一隊は二十一日午後金剛山の方に向つたと云ふ事や、北靑で七尺の虎を生擒した話しを聞く、山本氏の得意を思ふ

▲元山はいつ來ても落ち著いた感じがする地の一海岸町を見るやうな感じがする、然し來る度に市勢がいくらかよい方に變つて行くやうだ、午後七時頃から、稍烈しい風が出た、今夜の海は可なり荒るらしい

(二十一日午後九時半宅安丸乘船の際認む)

□定例休刊

二十三日は新嘗祭に付同日發行の夕刊並に翌二十四日發行の朝刊は定例休刊す但し其の間重要問題が生したる際は號外を以て報道すべし

淸州

▲磯田公州法院長任したる野上代三郎氏は十九日著任したり▲淸酒の値上 當地淸酒販賣店にては[illegible]道內事務視察の爲め二十日來淸し[illegible]

◉滿洲製粉界

小康[illegible]大連支[illegible]九月中の銀界落時代に[illegible]の補缺の爲京城へ輸送しつゝあり合ひたるが此事個々大連邦商側輸入商の滿腹を招致し同時に內地(?)相場も二十錢乃至二十五錢方の低落を催へ兩來下向き三圓五十五錢迄の到に傚し二箇月の消費量を有し從來然不引合なるを以て漸く上海粉の輸入を見るに至りたるが現在の大連在高は約二十五萬袋を算し[illegible]

◉長春經濟雜信

▲火石嶺炭坑擴張 吉長鐵道營城子驛附近の火石嶺炭坑は[illegible]公司の名にて經營し來り[illegible]資金を民間に需め[illegible]方針を一變し積極的に活動準備をなすべしと▲運輸應募景氣 長春運輸會社の株式公募は愈々明日締切らるべく[illegible]

▲出迴り頭道溝六七百石城內方面千石合計二千石[illegible]

◉黃金町の小火

二十二日[illegible]

◎新舊理事長引繼

新採[illegible]木公司理事長は午後五時鳳凰城より沙河鎭に來り下車多數の出迎ありて[illegible]

◉普信普通校表彰式 東大門外昌信公立普通學校にては二十二日午後二時より同校優等兒表彰及び善行[illegible]

商業登記公告

京城[illegible]一朝鮮皮革株式會社(變更)[illegible]市大正六年十一月[illegible]

永登浦出張所

御名刺印刷

コロタイプ石版活版美術印刷[illegible]

中田普成社

京城黃金町[illegible]電話二[illegible]振替京城[illegible]

冬物賣出し

舶來下品舨服類[illegible]

鮮唐特製品類

和服類中古品

男女給物其他[illegible]和洋服[illegible]

金子奥市商店

振替京城三八一三番

京日案內

普通廣告[illegible]一行[illegible]

金融

花園町[illegible]宮川[illegible]

融通

[illegible]

石油發動機

末松義乘

恩給年金立替

電話三三九一番

國江商會

獵用火藥霰彈

龍山榮町(電話一五三番)

毛利商店

年金恩給即時立替

江州屋本店

雜木原木板類

本明雜木店

恩給年金即時

山口屋

京城南大門外 電二六八八番

◎ボール紙到著

京城西小門町 電話二七五二

廣興商會

眼鏡專門

レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉強

京城南大門通二丁目二一番地

宮川大學堂

電話二九五九番 振替京城壹壹武九番

(眼鏡製造工場子弟入用)

婦女界 十二月號 年末經濟號 本日發賣

婦人に必要 精神的敎育を施すの必要 鳩山春子

主婦日常の心得十一ヶ條

幸福を求むるの道

味噌の組成と滋養價

最も安全なる利殖法

經濟上に非常な打擊を受けた經驗

我家の利殖法

我家の衣服に關する苦心

年末の贈答に關する苦心

藥草藥木と民間療法

主婦の讀物

家庭小說 世間 柳川春葉作

東京牛込加賀町 婦女界社 振替二〇二八三番

一冊十七錢 一年

▲熱狂的大好評!!

劇界の大立物 熊谷武雄出演

大阪每日新聞紙上連載中 五味國太郎

小杉天外先生傑作 食滿南北先生脚色

◉悲劇 七色珊瑚 百六十場

空前の傑作物として每日百萬の讀者をして未曾有の好評を博しつゝある七色珊瑚を食滿先生の脚色に依つて益々興味を加へ內地及朝鮮各館に卒先し昨夜より上塲

大阪每日新聞讀者に限り割引

本日晝夜開演 黃金館

…事並に支那管内の事務視察を終へ…二十日歸廳したり▲野上署長兼任 春川警察署長より清州警察署に轉…

…山村金鑛買收 陽山與田鑛業所にては琅城、西山村金鑛を買收し目下盛に採掘中なるが毎日約三百匁…

…る銀の暴落は右支那…ろ狼狽を惹起し三井増田其他の契約に對し解合を交渉し結局一…三十錢乃至四十錢の損失にて解…

…騰の歩調を辿り大連神渡三圓七十錢を呼び當地の現在値は三圓五十錢に比し二十錢方の開きあり自…

…されば滿洲製粉工場の操…と共に幾分與地方に供給の餘地を來したれば或は漸次北方に荷動きを見るべきかといふ

…が大擴張をなすべく廣く各…上海の有力なる資本家も出資を諾したる由なれば同鑛は遠からず經…

…商務總會所有家屋に設けらるべし▲新穀出廻旺盛 長春地方の新穀出廻りは吉林事變と共に車馬徴發等のため一時頓挫の状態なりし…

…方壇突より失火…古村木と温突…を燒き六時二十分鎮火せるが損害約六十圓なりと

●新明學校記念式 京城…私立新明學校にては來る二十五日午後一時より同校に於て創立滿十年記念式を擧行す可しと

初冬（…畔にて）

虎狩ローマンス

（二） 虎と格鬪

迫り銜む霜の凝つて…目を瞬らして一心不亂…も一頭が十數頭の…

前にも言つた通り虎は獰惡で用心深く奸黠で臆病ですが其性質さへ呑込んで居たなら決して怖いものでありません、加藤清正が鏑の先で田獵刺にし武松が陽岡で虎を早蹴にしたと言つて鬼將軍とか汝は忽彼の心、豹子の肝、獅子の腿を食ひ膽をもて身體を包むやんて賞千斷つて居ますが

◆◆虎の性質 と習慣とを知つて居たなら格鬪したつてさう〈ブマを踏む樣な事はありやしない老練な朝鮮人の獵師は山刀一挺で巨虎を斃す事が屢々あります、徐々熱が加はつて來る

◆◆老砲手は 膝を乘り出した『現に私は二頭の虎と格鬪して一頭を斃した事がありますが擦傷さへ負はなかつた』と來る、先刻土地の憲兵から聞いた話に違ひない、と思ふと其の勇士と膝を接して當時奮鬪の模樣を聞く、記者は緊張せざるを得なかつた

◆◆感興頻り に湧いて血がブルブルと震へる『昨年の十一月二十三日鰐田里から六里餘の西德池江の上流に聳ゆる飛雲峰に勢子一名を引連れて猪撃ちに向ひました、そして降り積む雪を蹴つて山嶺に攀ぢ登り足場を計つて勢子の追ひ出す獲物を待ち構へて居ると私の居る場所から

◆◆十二間餘 を離れた萩の繁みに焦茶色の怪物が忍んで居るぢやありませんか虎だツ！滿身の鬪爭を押靜めて再び瞄を定める

と、流石の私も◆◆不意の事 に平素の沈着を喪つて、前後の差別もなく虎の心臟部目蒐けて一發放つた、然るに熱が發生して居た爲め彈は狹に當つて横に外れ將部に命中したから堪りません、虎は嚇と怒つて藪を飛び越わ私を目蒐けて飛び掛つて來ました、さあ大變一端傷いた虎は

◆◆霹靂の如く 猛り狂つて藪をも噛み碎くと言ふ程ですから私は行斗の冷水を浴せかけられた樣に慄然として輕忽を悔ひましたがもう其時は遲かつた、虎は爪を立て腰を捻り頭上高く飛び越えて再び身を翻し天地も崩れん許に

◆◆咆哮する 樣は物凄いとも物凄い、永年猛獸狩に從事した私も其時許りは虎の餌食になるものと思て身の毛が慄立ちました、と其瞬間又もや一頭の巨虎が現はれ出でて右と左から米盆の如き口を開いて襲ひ蒐つて來たが

◆◆絶對絶命 だ、繋つに發ても止む無く銃の銃尻を逆に振つて飛び蒐る前足を折よと計り毆りつけたが怯んだ事で怯む相手ではない益々猛りに猛つて縱横に飛び進ひ其都度傍腹目がけて爪を引かけやうと焦つては洋服を寸破に引破る、左に身をかはし右に體を捻り腕の

◆◆續く限り 精の在る限り鬪つた私も十分間許りの格鬪に精根盡きて今はこれ迄と觀念の臍を固めたが天祐にも……誤は往現に入つて今や將に危機一髮の處となるか雨となるか、兩虎競つて咆哮する樣は眞に山鳴り地響き天地凄慘の極致であつたら、此時川砲手はヰスキーを呻つて話を續ける（元山にて早川特派員）

島津三公 銅像除幕式 兩妃殿下御台臨

鹿兒島島津家にては齊彬、久光、忠義三公銅像除幕式を二十三日執行したるが島津家の御一門なる山階久邇兩宮妃殿下以下藩諸の名士雲の如く集まり頗る盛況を呈し市中大いに賑へり（鹿兒島電報）

空中から藝妓へ名刺 中山飛行中尉

深草なる陸軍飛行機は二十二日京都訪問飛行を行へるが萬亭の上邊りにて低空飛行を試み機上より亭宛の白き圓球を投せり宛は祇園お濱にて中には藝妓坂口かの子に宛てたる中山中尉の名刺ありたりと（大阪特電）

吳工廠の白金盜難事件 意外の邊に飛火せん

吳海軍工廠秘密工場内部のプラチナ盜難事件は機械にも加害者あり或は意外の邊に飛火せん（廣島電報）

家諸共に燒死

忠北報恩郡水汗面教若里朱秉祐方にて妻金姓女（三六）が焚火の際外…

間島を觀て 無盡藏の富源 桑原咸北道長官

桑原咸北道長官は征虎團が元山休養中山縣政務總監出迎への爲め元山に至りたるが其の間島視察談に曰く

余は十月間島を視察したるが流石に間島は廣袤千方里を有し其の富源は無盡藏の觀あり耕地の如きも九萬町歩に達し雜穀を合して

◆◇百萬石 の生産を有し居るも將來三十萬町歩の耕地を開拓し得る見込みにて其の土地の肥沃なる事想像以上なり收穫力は咸北の三倍以上に達し居る程なれば粟は三尺以上の穗を垂れ玉蜀黍隱元大根等は品質極めて優良にて

◆◇馬鈴薯 の如き昨年の産額千四百萬貫に達したる由北鮮の瘠土不毛なるに比して眞に羨望に堪へざる處なり、斯くの如く僅かに豆滿江を挾んで對岸は肥沃豐饒なるを以て北鮮の住民は踵を接して移住し此れが爲めに北鮮の地は年々人口稀薄となりつゝ有るが此等

◆◇移住民 は何れも斧鉞の未だ加へられざる森林を拓いて火田となし奧へ奧へと侵入し居れり且つとなり間島の開發上一見喜ぶ可き趨勢を呈し居れるも火が森林を亡ぼす力は頗る猛烈にして一度彼等の手に掛らんか如何な深林も

◆◇瞬く間 に與げらるゝを以て雨は地を流し下流地方は折…

…銅山にして該銅山は目下一噸半を採掘しつゝ有るも大正七年度より五倍の採掘能力を發揮すべく準備中なり從業員は内鮮兩人三千を數へ從つて物資の集散多く將來事業の擴張發展に伴ひ内地との關係は經濟問題として刮目すべきものは

◆◇天寶山 銅山にして…

◆◇密接に なり朝鮮との千係交渉は愈々加はり當に間島は財力の中心たるのみならず日鮮經濟の伸張上刮目して見る可き者ありと信ず（元山にて早川特派員）

大尉の妻を自殺せしめ 良家の處女を弄びし責任者 高山憲兵大佐辭職

遞信省特務船青島丸航海長海軍大尉北島倍一郎氏夫人トセ子（二…）が去る十月十三日即ち夫が航海を了へて歸宅す可き前日由比鶴德山町に於て…の眞相をも明さず突然

鐵道自殺を爲せる事件

並に東京四谷區廣川友弘氏長女ミす子（…）の凌辱事件に關し責任ある東京憲兵隊長憲兵大佐高山逸明（…）氏は去る十九日突然辭表を提出するや即日憲兵司令官小池中將より謹慎を申し渡され引籠り中なるが當局は事實の眞相を嚴重取調べ相當所置を爲すべし（東京特電）

憐れなる一家

山口縣熊毛郡…村…時…田水晶洞居住伊藤…助（五〇）…妻…（三八）長男…（一四）二男…（一〇）三男…（八）の五人暮しなるも…[illegible]

空巢專門の賊

十一月五日午後三時頃京城初音町荒若某方に一名の曲者忍び込まんとしたるを家人が發見して取押へ本町警察署に突き出したり取調べの結果住所不定の崔泰順（二七）と言ひ去る十月二十一日以降京城の各所即ち專門にて北米倉町、花園町、櫻井町、前野、初音町、黑木、大和町二丁目、小林、西四軒町、秋尾、黄金町一丁目、日結城、南山町二丁目井上等に何れも家人の不在中に忍び込み衣類、時計、指環等合計數十點の金品を窃取して内地人質屋に僞名入質して酒色に消費したることを自白し身柄は檢事局へ送られたり

…出したる爲め十三日午前十一時頃發火し約一時間の後鎮火せしが居宅を全燒したる上長女大…（七）は大火傷を負ひ翌日遂に死亡せり

京城神社の新嘗祭

二十三日は新嘗祭につき京城神社に於ては祭祀令の定むる所に依り大祭式として午前十一時官民多數參列の上祭典を擧行する由當日は定刻前に修祓を受けたる後…祝詞を奏上の後…地方官、朝鮮官、氏子總代其他參列者一同…の後に神饌を撤し御扉を閉ぢて一同退下祭典を終了すべしと

朝鮮の田舍と醫藥

（四）◇難澁な實例◇

…患者として治療を加ふることゝなりしが…樣見るも痛ましき極みなりき

要するに田舍では醫師よりも藥種商の方が利きものであるといふ…[illegible]

▽▽京城の如き は稍多過ぎる傾向もあるやうな次第である…[illegible]

▽▽賣り歩く …[illegible]

▽▽蛤の貝殼に 入れ御の紙…[illegible]

▽▽全く呆れる の外はない…[illegible]

…上宮たる景福宮に火災の起つた時…明治九年…王殿下…夜中であつて恰度御眠りの最中であつたのである▲由來朝鮮の宮中では火事といふ事が忌み嫌はれてゐて其時も現在火事と云ふ…起つたのを知り乍ら誰も火事と云ふ者が無かつたので李太王殿下は危ふく御燒死を遂げさせる許りになつた▲當時王殿下は御熟睡中で中々御目醒めにならないので宦官の文熙澄なる者が棒で障子を叩いて殿下を御起し申したので殿下は僅に身を以て免かれられたのである▲其の宦官は此の功に依つて君寵を蒙り一時宮中に勢力を張つたさうだ▲猶ほ今回内殿の火災に就ては場所と失火者が女官であるといふ事は漸く判明したが遂に誰の所爲であるか未だに解らない、之には當該官憲たる昌德宮警察署員は勿論關係者もホトホト手を燒いてゐる▲今度は國分次官が直々に調べてゐるが益々暗中模索の姿で困難してゐるとのこと

◇第五回 朝鮮短歌會

日時 十月廿三日正午より
會場 南山本願寺
會費 金三十錢當日持參の事
一般 同好者の參會を歡迎す
幹事 角田…

大寫眞と大餘興を提供

新派悲劇 雨夜の女 立花貞二郎、東猛夫合同大一座 立花の合嬢松江、五月の母茂子、土方の女お杉、新加入者妻の妓婦浦子等何れも女形の人氣者「丁度時節も冬枯時題して悲活劇 雨夜の女」

探偵劇 二人探偵

舊劇 鬼の重三

英國人 ジヨンデー出演 餘興

大正館 ▽料金特に普通▲

陸軍拂下 京城府漢江通… 佐藤古着店

最新刊

書名	著者	定價
商業資金の運用	[illegible]	一、八〇
法律に觸れぬ心得	[illegible]	一、四〇
稅法便覽	[illegible]	五五
模範の日記文	[illegible]	九五
青年の力	[illegible]	六〇
乾電池と蓄電池	[illegible]	八五
自修英語評釋	[illegible]	八五
精神分析法	[illegible]	一、五〇
[illegible]	[illegible]	六五
新譯東海紀行	[illegible]	[illegible]
世界奇聞	[illegible]	[illegible]
美術の部	[illegible]	三、〇〇
生くる日の限り	[illegible]	[illegible]
ファウスト	森林太郎	二、〇〇
小さき芽	[illegible]	[illegible]
草と惡魔	[illegible]	四〇
嬶の幸福	[illegible]	七五

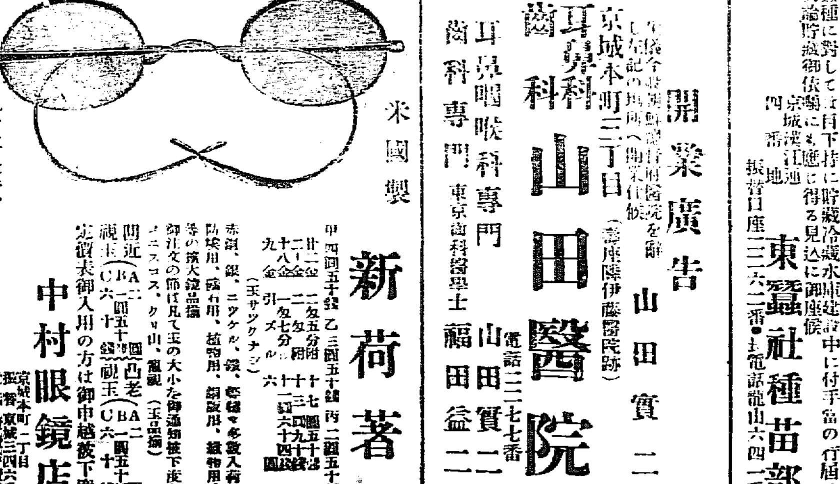
大阪屋號書店

軍隊拂下品 赤茶毛布 茶紺ラシヤ服 防寒襦袢、袴下、手袋 覆面、沓下、毛皮胴著 茶褐外被、紺絨外套 其他 德用品各種 ●毛布百枚以上特に割引 倘賃貸しも可仕候 雜貨 メリヤス 卸商 京城北米倉町 村上商店 電話千六十二番

蠶種と桑苗 豫約御注文の最好期！ 蠶種に對しては目下特に貯藏冷藏水庫建設中に付手當の付植は勿論貯藏御依頼にも應じ得る見込に御座候 各種何れも優良なる現品多數用意持合居候 京城漢江通四番地 東蠶社種苗部

開業廣告 京城本町三丁目 耳鼻科 齒科 山田醫院 耳鼻咽喉科專門 山田實二 齒科專門 東京齒科醫學士 福田益二 電話二二七七番

米國製 新荷著 金張眼鏡



中村眼鏡店 京城本町二丁目

あなたの元氣のために 純蔘精を 勸めます

製造發賣元 高麗人蔘製劑所 朝鮮京城黄金町四丁目 電話二五九九番 振替京城四一三六番

南鮮代理店 木浦府福山町 藥種商 菅辨助

櫻御殿

第七十五回　安藝の月（十五）

大阪　霞の家主人

『初瀬どの、歎ばねばならぬ、奥方から有難い御意が下つた』と云つて芳野は面を覗いた。初瀬は絶えさうな息をして

『わしは死にたい、斯うした思ひに沈むよりは、一時も早く死んで了ひたいと思ひます』と元氣のない聲で云ふ

『和御寮の病氣は、友若様のお薬にも及ぶまい、宮島明神の御利益にも協ふまい、併し奥方様の御意だけは効驗がある、まあ聞かつしやれ』と勿體付けて、美知姫の口[illegible]

春の夜の雨に觸れて濡れぬ葉末はござんせぬ、心の底から迸る眞情には、石佛さまも動くと云ひます、況して清之亟殿は情を知つた武士ぢや、袖に縋つて云ふ事を、振り拂ひもなさるまい、きつと云ふてお退けなさる、お前一人[illegible]ここに、[illegible]

『云はいでお[illegible]く』、心に思ふ[illegible]しさを根本から云ふて退けます、それでお疑ひが晴れりや可し、[illegible]も無くばその[illegible]をお[illegible]す、[illegible]になつて果てます、思ひ詰めた[illegible]方に捨てられて、何で[illegible]生きてはゐられませぬ』と初瀬は[illegible]

『術といふてはござりませぬが、明左衞門殿のお邸へでも參りませう、望み協へば生きてお目に掛ります、清之亟殿のお心遂らずば、これがお別れでござります』

『わたしもお前の大願の協ふやう、これからお祈り申します』

芳野は何處までも親切であつた、初瀬は衣服を改めて、美知姫の前へ出る、美知姫から行き届いた詞が下る、初瀬は涙ながら禮を述べて、御機嫌克うござりませ、只今お宿へ下げて戴きます

一旦[illegible]うて全快して歸りや、和御寮と芳野は江戸から伴れて來つた[illegible]他人とは思はぬぞよ』

優しう云はれるほど[illegible]初瀬は立ちもしかねる[illegible]、思ひ[illegible]して立ち上え、後に心が取り殘されるやうであつた

（つゞく）

西洋料理　電話五七一番　ハイカラ井　カフエータイガー

上を遺漏無く語つた

すると、初瀬の面上に活々とした血の色が浮いて來る、今にも消えさうに開かれた瞳が忽ち凛と張つて來る

『有難や、それでわたしは助かります』

『まづ方様にお禮申し上げではならぬ、その上を何うしやうお心ぢや』

『清之亟様のお邸へ參ります、彼ほど堅う約束した言葉が易々反古になる筈はござりませぬ、それを忍んでお心變りなされたには、定めて仔細がござりませう、夫が聞きたいと思ひます』

『何うおや〳〵』男は當ると脆う碎ける、お前さまとの間に、冷たい水を加した者がござらうで、まづ夫をお聞きなされ、温い東風に觸れて、咲かぬ花はござんせぬ

『さうとも〳〵』、その心おすや及しも拔ふ

『清之亟殿の胸を、その及で貫いてお上げなされ、萬々が一、その場にお前の心が屆かいで、女冥理尤死はさせませぬ、後に芳野の存命である、果てなされても、お身體は肉と皮ぢや、一刺しに刺し殺してお目にかけます』

『能う云ふて下された』それを力に參ります』

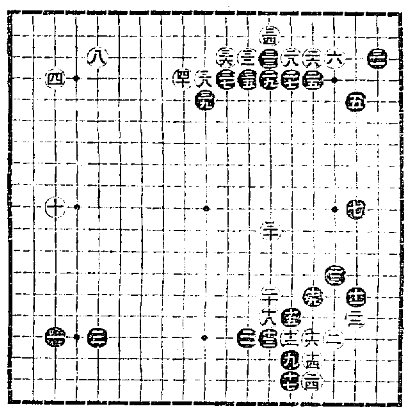
初瀬は兩掌を合せて拜んだ、彼女の戀には意地が絡んだ、彼女の心は清之亟に對する怨みにのみ執著した

『當座のお暇を下された、このお部屋はわたしがきつと預ります、方様へお禮申して、宿へお下りなされませ』

圍碁手合（二）

三段　山平壽氏　先　初段　松尾清太郎氏

黑　十六の十　（二十一）より白十四の四（四十）迄



撫松菴小集

重陽後四日共題撫松菴新櫺　撫松　安　往居

短籬風雨過重陽。晩菊相邀契已遍。却是黃花多淨力。耐寒猶傲舊時籬。

同　小野　鄭　倫　

蛩聲。蟬。獨。小閣。新結。翠山陽。得。君。堆。菜。過。重陽。秋。故。道。知。別。想。長。賀大君新結構。黃花白酒訂吾鄉。

同　宋　憲　爽

室狹。難便。共一床。小櫻新結翠山陽。之亭曰。避聯合人健兒。

同　久保田良行

黃花亦解騷人意。向酒樽放逸香。之亭曰。寫得情趣。

要君結構撫松堂。劍悠悠。愛。鄉。採盡黃花新酒熟。更歸桁珮潔於霜。之亭曰。雅潔

同　鷗　　偷　志

城西結構舊吟堂。鴻雁南飛不見鄉。已過重陽逢惡好。綠蔬香菊白於霜。之亭曰。不見鄉元本作戀戀字。

回憶意遺涉苟且故改以見字。盖詩貴無縫合。

吟合新成紫陽。棚。巳變此心涼。黃花解意迎新客。復有南山入戶蒼。

之亭曰　一往情深、

書劍平生未入堂。淹留幾歲在他鄉。

次天南詞兄韻　撫　松

一欣惠好欣君喜。又有東籬菊傲霜。逆山口君歸東　撫　松

南山逆客色蒼蒼。脫却俗氛心自涼。願望敍頭多少感。玄洋一淺見扶桑。

日報俳壇

吟行句錄

秋雨な々と降る九月二十三日西下商へ昔將を催す、同行十五名、夫二匹、一行中に女を交へたるをかし（倒立投記）

[illegible]

登東蓬　松汀

久聞東坐勝。在臨根更新。多少詩名者。流芳閒幾人。

自註　刻名於奇巖怪石者多而其損傷風致不鮮故末半及之

[illegible]

電光之日本創立十周年祝宴

[illegible]

婦人界の好評

[illegible]

大正式製繩機の好況

[illegible]

白さの異ふ點に於て新發見の

ホーカー白粉

他に類なくノリとノビとの優れて好い

東京中の白粉の投票に當選第一等を得ました

▲自然らしい白さにつく
▲ノリノビが一番好い
▲肌の營養劑を含む
▲ツヤ力が強く化粧崩れがしない
▲洗つた後まで白くなる
▲肌がアレ日ヤケを防ぐ
▲色白に艶麗さを增す

定價　一瓶　二十五錢
送料　内地　[illegible]

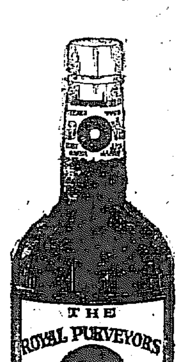
お近所の店に品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖宛御注文下さい

本舖　東京神田　堀越嘉太郎商店

登錄商標

滋養強壯　芳香美味

◎蛇の目印ポートワイン



（現品寫眞圖）

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を強くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養強壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒煉乳　食料品家庭藥　鑵詰雜貨　直輸出入商

大阪市東區高麗橋貳丁目

㋕　松下善四郎

電話本局一八五、長一八六、長八二〇　電信略號マツセ　振替口座大阪一六

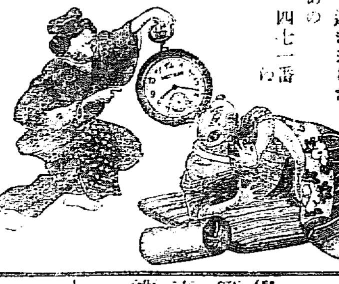
りん病ばい毒

にせドラッグに御注意

[illegible]

詐欺漢なり

京城南大門外
花柳病專門藥店　ドラッグ商会　本部



もし〳〵　御約束の八時が二十分過ぎました

あの四七一番

京城本町二丁目

村本時計舖

電話[illegible]

內科小兒科　中島醫院

京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話三七八番

入院隨意

院主　中島貞信

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店

京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店
電話[illegible]三九番
振替口座[illegible]

資本金壹千萬圓
頭取　安田善三郎

★株式會社　百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目

電話[illegible]
振替貯金京城[illegible]

銀行一般の業務甚々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

無比　パイン學生號　萬年筆發賣

定價　貳圓八十錢也

▲當會社の所期は萬年筆の製作所に命じ特に製作せしめたる此學生號はペンが小さいので總ての飾を除き實用を專一とした爲めに斯く廉價なのであります
▲學生號は「パイン」の長軸で「パイン」とも云ふべきもので外見は少しも遊びません
▲同じ十四金ペン同じ最上の「エボナイト」軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず銀行、會社、學生間に益々喧傳されて居るのも此故に外ならざるのです

發賣元　京城日報社代理部

京城大平通一丁目
振替京城三〇〇番

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版

京城日報社　寫眞製版部

汽船　釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　十一月二十三日　後五時出
立神丸　十一月二十[illegible]日　後五時出
○元山、淸津、浦鹽行
和歌浦丸　十一月[illegible]日　後十時出
立神丸　十一月[illegible]日　後四時出
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
立神丸　十一月[illegible]日　後六時出
○第三辛平丸　門司、宇品、神戸、大阪行
○第三辛平丸
○佐須奈、嚴原、鄉ノ浦、博多行
大凡丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆

釜山港　[illegible]　大池回漕部

仁川出帆　共同汽船

[illegible]
共同丸　十一月廿五日午後入港　十一月廿六日午前十時出
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
仁川代理店
[illegible]
元山代理店　[illegible]
京城取次店　[illegible]

大阪商船　仁川出帆

○外國航路（[illegible]）
×南浦、神戸、大阪行
遼州丸　十一月廿七日　後五時出
×群山、神戸、大阪行
×信ノ川丸　月　日　後二時出
△汕頭丸　月　日　後二時出
◎木浦、釜山、馬山、鎭海、長崎行
×安東丸　十一月四日　後二時出
×安東丸　十二月廿二日
○南浦行
△汕頭丸　月　日
×漳州丸　月　日　後二時出
◎鎭南浦、大連行
×安東丸　十一月廿九日　後二時出
×安東丸　十二月十七日
◎西湖津新浦城津淸津行（元山出）
宮島丸　十二月四日　後十二時出
◎淸津行（元山出帆）
安平丸　十一月廿七日　後十二時出
◎上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
基隆丸　十一月　日　後四時出
湖北丸　十二月四日　後六時出

御注意　[illegible]

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
切符發賣所　内國通運會社京城支店
切符發賣所　仁川京城　[illegible]

日本郵船　仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　十一月廿一日
高砂丸　十二月一日
三河丸　十二月十一日　正午出

仁川海岸町一丁目　堀回漕部

朝鮮郵船　出帆

本社　京城[illegible]　電話[illegible]
釜山支店　釜山港佐藤町
元山出張所　元山港海岸通
仁川代理店　仁川港　堀回漕部
木浦代理店　木浦港　山野回漕部
京城取扱店　京城南大門前　松原運送店

○關門より釜山各地經由雄基行　但し×印あるは江原道寄港せず
×三浦丸　十一月
×成鏡丸　十一月二十四日
×京城丸　十一月廿九日
忠淸丸　十一月
　　釜山發
○元山より北鮮各地經由雄基行
慶城丸　十一月二十二日
咸鏡丸　十一月二十三日
成鏡丸　十一月
三浦丸　十一月
鏡城丸　十一月廿五日
　　元山發
○浦海行（元山より城津淸津經由）
平壤丸　十一月廿一日　元山發
○元山より釜山關門行
三浦丸　十一月廿四日
京畿丸　十一月五日　元山發
○元山より江原道寄港釜山關門行
成鏡丸　十二月一日
忠淸丸　十一月　元山發
○鬱陵島行　浦項及各地經由
鬱陵丸　十一月二十日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸
襄陽丸　毎日　釜山發
○濟州島行　長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　十一月　日　釜山發
○釜山、麗水間
海州丸　巨濟丸　毎日　釜山發
統營丸
○濟州島行（東廻　所安島　西廻　[illegible]）
公州丸　十一月　日
咸興丸　十一月　日　木浦發
○木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
順天丸　三日目毎に木浦發
○木浦より多島海各島行
慶興丸　十一月廿二日　木浦發
○仁川木浦行（群山其他各地經由）
晉州丸　十一月
麗水丸　十一月　日　仁川發
○仁川鎭南浦行（海州其他各地經由）
仁川丸　十一月
南陽丸　十一月　日　仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）
全州丸　休航
南陽丸　毎日　仁川發
○宥島行（芝罘、大連經由）
江原丸　十一月　日　仁川發

大阪三品特電
二十二日前場　寄付　止め
[illegible]

二十二日　阪神式株電
[illegible]

同
堂島米
東京株式
大阪株式

[illegible]

段閣瓦解原因

▲總理段祺瑞氏は去七月[illegible]再び[illegible]の後を受けて再び[illegible]

十五日夜遂に辭表を呈出し越へて十六日梁啓超林長民范源濂各總長も辭職し、曹汝霖等各總長亦辭表を提出したり、之れ段閣瓦解となり政府は急轉直下方に大動搖しつゝあり抑々三省軍と江西督軍李純氏湖北督軍王占元氏にして之に反抗したるものなり所謂安徽派に反抗したるものなり所謂[illegible]なるものは頗る峻烈を極め政府の立場を失はしむるものなりと云はれ[illegible]之等有力なる督軍を操縦し[illegible]するものは表面段祺瑞氏の[illegible]且つ段内閣の上に立つ[illegible]人盛んに其間を飛躍し李純氏等今[illegible]の運動に對し物質的に知識的に[illegible]少なからざる助力應援を為せると[illegible]今に至りて明らかにせらる而して最近の原因と[illegible]つ細々南軍に應ずるものを生じ長[illegible]沙亦不穩に陥り傅督軍傅良佐氏省[illegible]を[illegible]に乗じて北方に逃れ[illegible]る而して同時に王汝賢氏范國璋氏等[illegible]たると[illegible]